

# 日本児童文学学会 12月例会 プログラム

- <日時> 2024年12月14日(土) 午後2時～4時  
<参加費> 無料  
<参加方法> Zoom を用いたオンライン開催 (事前申し込み制)

司会 石井光恵 (日本女子大学 名誉教授)

## タイムテーブル

入室 13時45分～

発表1 14時～

発表者 甲斐聖子 (日本女子大学家政学部児童学科 助教)

Book+Artist スージー・リーの絵本考

—イギリスから韓国におけるこれまでの仕事を俯瞰して—

<要旨>

スージー・リーは「本」というメディアに注目し、「絵本」を通じて実験的な試みを形にしてきた稀有な作家である。本発表では、これまでの仕事の全体像を把握し、いくつかのキーワードから作家・作品理解を目指す。

発表2 15時～

発表者 伊藤敬佑 (白百合女子大学 非常勤講師)

現代フランス社会における児童文学の位置付け

—児童文学関連団体と国家との関わりを中心に—

<要旨>

本発表では、現代フランスにおける児童文学観、つまり社会の中で児童文学がどのような存在(であるべき)とみなされているかを明らかにする一歩として、児童文学関連団体や国家が児童文学を語る言説を検討する。

※申し込み締切：12月11日(水)

参加申し込みフォーム

<https://forms.gle/zTiseHhEQY4CZdn87>

